

FOREST しほ



伊豆市立修善寺東小学校

4・5年生自然体験教室

コビサワラ原生林ハイキング



原生林を目指して！

ハイキング日和の晴天に恵まれた6月13日(木)、伊豆市地藏堂にあるコビサワラ原生林において、修善寺東小学校4・5年生31名を対象とした自然体験教室が開催され、天城自然ガイドクラブから3名、伊豆森林管理署から2名が講師として参加しました。

開村式では、伊豆市の面積の約8割が森林で、豊かな自然は伊豆市の自慢になることや伊豆森林管理署が管理している国有林について説明しました。

開村式終了後、さっそく児童たちは萬城の滝キャンプ場から3グループに分かれてハイキングにスタートし、天城自然ガイドクラブの講師か



森林教室を実施しました

ら植物の名前や特徴、伊豆のワサビの栽培方法や天城の地形の成り立ちなど貴重なお話を伺いながら原生林に向かいました。

昼休みには、森林のはたらきについての森林教室を開催しました。まず、児童たちに森林のはたらきにはどのようなものがあるか質問をしたところ、「水をきれいにするはたらきがある」との答えが返ってきました。関心の高さに驚きつつも、森林には他にもたくさんのはたらきがあり、川や海を豊かにしていること、土砂災害を防ぐこと、二酸化炭素を吸収して、酸素を発生させ、地球温暖化を防いでくれていることなどを説明しました。

昼休み終了後、コビサワラ原生林を散策しました。児童たちは、木の種類が多いことや、ブナやモミなどの大きさに驚いていました。観察するだけではなく、木の幹に触る、葉っぱや枝のにおいを嗅ぐ、幹の周りを測定するなど、いろいろな感覚を通じて自然を満喫している様子でした。

歩きすぎて疲れたとの声もありましたが、怪我や体調不良になる児童もなく、無事にキャンプ場までゴールすることができました。

今回の自然体験教室を通じて、伊豆市には豊かな自然があることや森林のはたらきについて、身近に感じるきっかけとなればよいなと思えました。



原生林を散策